

## 原子力安全性向上分科会、原子力コミュニケーション分科会 報告

### 1 前回委員会(H29.12.15)以降の分科会開催実績

#### 【原子力安全性向上分科会】

- ・ 開催実績なし（平成30年内 開催予定）
- ※ 原子力安全性向上分科会は、定期検査終了後6ヵ月以内に実施する安全性向上評価の外部評価を実施。（川内1号:6月29日 通常運転復帰、川内2号:9月28日 通常運転復帰）

#### 【原子力コミュニケーション分科会】

- ・ 第5回 原子力コミュニケーション分科会（平成30年8月7日 開催）

### 2 第5回 原子力コミュニケーション分科会の概要

- 第5回分科会では、原子力に関する広報・コミュニケーション活動の活動方針や至近の取組み状況等について説明し、ご意見を頂きました。

#### 【主な審議項目】

##### ① 平成30年度「原子力事業に係るコミュニケーション活動方針」について

- ・ 原子力コミュニケーション活動体制と主な取組み
- ・ 当社の原子力事業に対する地域の皆さまや有識者の声 ほか

##### ② 立地地域におけるコミュニケーション活動の取組み

- ・ 玄海地域におけるコミュニケーション活動（全区長訪問、玄海総合事務所の設置ほか）
- ・ 川内地域におけるコミュニケーション活動（全区長訪問、エネルギー講座・見学会ほか）
- ・ コミュニケーション活動の実効性向上に向けた取組み（社員向け研修ほか）

##### ③ 九州全域におけるコミュニケーション活動の取組み

- ・ 当社ホームページ・SNSを活用した情報発信、生活情報紙の発行
- ・ 女性向けエネルギー講演会の実施
- ・ 次世代層向けイベント、見学会等の開催 ほか

#### 【主なご意見】

- ・ 次世代層向けの講座等は、テーマをエネルギーに限定せず「サイエンス教室」などに広げると、親しみやすくなり、より多くの方に参加していただけるのではないかと。
- ・ 発電所見学会は、お客さまが疑問に感じている点について説明する良い機会でもある。設備の説明をするだけでなく、他にもどのような疑問や不安にお答えしたらよいか、といった視点をもって対応するとよいのではないかと。
- ・ 女性の中でもどのような層をターゲットにするかによって効果的な訴求方法は大きく変わる。同世代の女性の中でも関心を持つポイントなどには多様性があり、より詳細に分析し、対応していく必要がある。
- ・ 市民の再エネの普及に対する期待は非常に大きいと感じる。九州では他エリアと比較しても再エネの普及が進んでいることを、今後も積極的に発信した方がよい。また、再エネの開発計画等についても発信すべきと思う。
- ・ 玄海、川内地域での訪問活動の結果、「意見なし」が多いようでは無意味。対応する社員が地域の声をうまく引き出さなければ、その後の取組みに繋がらない。